

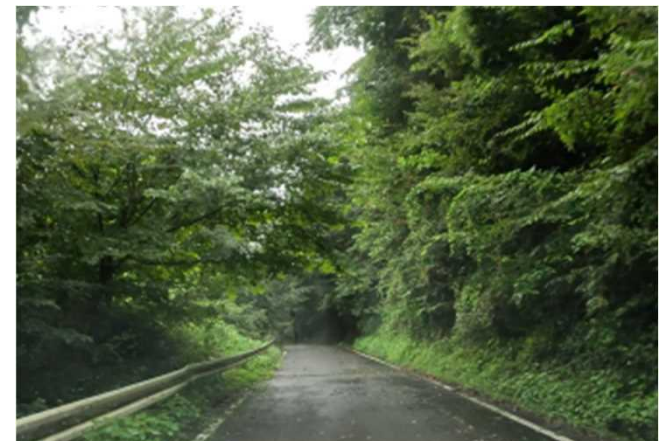
令和7年度
ぐんま緑の県民基金・市町村提案型事業
独自提案事業
(追加)

独自提案事業（新規）

計画番号 : 下-独-1
事業名 : 上小坂（桜の里）森林整備
事業実施主体 : 下仁田町
事業所在地 : 下仁田町内
事業内容 : 森林・竹林の伐採（危険木処理）
目的 : 関東ふれあいの道の一部に指定されている林道さくらの里線沿線の危険木の伐採等による森林整備
事業費 : 2,191,000円
県補助金 : 1,095,000円
町負担金 : 1,095,000円

独自提案理由：

所有者が多いため協定が締結できず、森林整備後の管理体制が確立されていないが、「荒廃した里山・平地林の整備」と同等の提案であり、かつ本事業予定箇所は初回であるため。（考え方1）



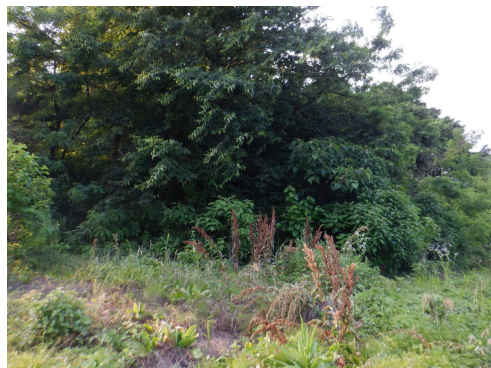
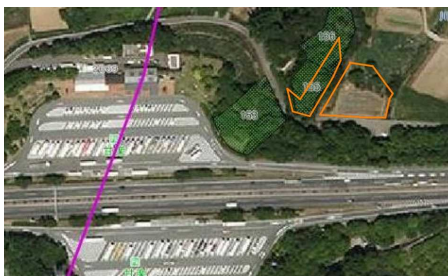
独自提案事業（新規）

計画番号 : 甘-独-1
事業名 : 甘楽スマートインターチェンジ周辺公有林化
事業実施主体 : 甘楽町
事業所在地 : 甘楽町内
事業内容 :
目的 : IC周辺森林の地域の新たな森（「甘楽の森」）として整備、地元企業との連携により整備・管理し、SDG s の目標15の達成に向け、森林保全にモデル的に取り組む。（取得面積：0.14ha（山林：0.01ha、畑：0.13ha）
事業費 : 10,823,000円
県補助金 : 5,411,000円
町負担金 : 5,412,000円

独自提案理由：

本件は甘楽町町有林に隣接した森林及び耕作放棄地を町が取得し、地元企業と協定を締結して無立木地への植栽、継続的な下刈等の森林整備を町有林と一体的に実施していくことで、住民が親しめる場としての公益性の高い森林を目的とするものであるが、既存補助対象である公有林化の面積要件等を満たさないため。

（考え方2）



- 1 何らかの事情で協定が締結できない場合など、森林整備後の管理体制が確立されていない時点で「荒廃した里山・平地林の整備」と同等以上の提案があった場合は、「管理体制の構築に努めることを条件」とし、補助上限を「里山・平地林整備（困難地整備支援）の 1 / 2 以内、同一地につき 1 回限りを条件に独自提案事業として認める。
- 2 市町村提案型事業の趣旨に合致しているが、補助対象とされていない事業を実施するにあたり、その目的や事業実施後の有益性等が担保されると判断できた事業を独自提案事業として認める。